

# イチャオシ!

## M OVIE

### 『第9回UNHCR難民映画祭』

紛争、迫害、人権侵害によって家を離れ保護を求める人が世界中で増え続けている。その数は2013年末時点で、第二次世界大戦後で最も多い5,100万人。そんな難民たちへの理解を深めてもらおうと毎年開かれているのが本映画祭だ。シリア内戦の中、政府軍から抜け出し命を狙われた家族を描いた「ボーダー～戦火のシリアを逃れて～」、南スーダンの独立によって、北と南の間で揺らぐスーダンの若者たちに密着した「ナイルのくちづけ」など全13作品が上映される。難民たちが直面してきた現実を見つめてみよう。



© UNHCR

会期：10月4日(土)～26日(日)  
 会場：グローバルフェスタJAPAN2014、イタリア文化会館、セルバンテス文化センター東京、明治大学和泉キャンパス、北海道大学札幌キャンパス、関西学院大学西宮聖和キャンパス  
 URL：unhcr.refugeefilm.org/2014/  
 問：国連難民高等弁務官 (UNHCR) 駐日事務所  
 TEL：03-3499-2011

## E VENT

### 『ワールド・コラボ・フェスタ2014』

中部地域最大の国際協カイベントが今年も開催される。この地域で国際協力に取り組む市民団体やNGO、企業、自治体がブースを出展し、貧困削減や教育支援、国際交流などの活動を紹介。ワールドステージでは、1日目は、ポップスデュオのカズンがウガンダの青年海外協力隊との出会いをきっかけに作った曲を披露。2日目は、日本語が話せない中、18歳で来日したタレントのLiLiCoが、異文化コミュニケーションのコツについてトークショーを行う。世界を身近に感じられること間違いなしの2日間だ。

会期：10月25日(土)、26日(日) 10～18時  
 会場：オアシス21「銀河の広場」(愛知県名古屋市)  
 問：公益財団法人愛知県国際交流協会  
 TEL：052-961-8746  
 URL：www.world-collabo.jp/

## B OOK

### 『輝く瞳とともに アジアの途上国に学校をつくった人たちの物語』

アジアの子どもたちに教育の機会を提供しようと、2004年に設立された認定NPO法人アジア教育友好協会 (AEFA)。最初の活動先はラオスのタオイ郡。近隣の村々の対立が続き、学校建設が困難な地域だった。AEFAはまず村人たちの関係づくりに取り組み、近隣5カ村の子どもたちが通える学校の建設にこぎつけた。その後、周辺地域やベトナムにも協力を拡大し、日本の小学校と手紙や絵を交換するなどの交流も開始した。本書にはこの10年、人々がどのような思いで活動に取り組んできたかがつづられている。



石井克則、  
認定NPO法人アジア教育友好協会 著  
 かんき出版  
 1,620円(税込)

この本を  
1人の方に  
プレゼント  
詳細は  
38ページへ

## B OOK

### 『世界へ! あなたも行ける4大陸 プチ“自分の旅”!!!』

英語・日本語講師が世界に憧れ、北米、南米、アフリカ、ユーラシアの4大陸を巡った旅行記。アメリカでは大陸横断鉄道に乗り込んで大自然を堪能し、南米のペルーでは360度広がる平原と雄大な雪山に心を奪われた。しかし、大陸が変わると環境は一転。南アフリカでは「白人用」と「非白人用」と書かれた建物を前にアパルトヘイトの名残を体感。中東のシリア、イスラエルなどでは、古代の遺跡で聖書の世界に浸った。本書を手に取り、世界への旅に出掛けてみよう。



ごとうゆかり 著  
 文芸社  
 1,512円(税込)

この本を  
1人の方に  
プレゼント  
詳細は  
38ページへ